

工場排水分析（放流水分析・工程水分析）

～クリタ分析センターが提供する4つのサービス～

- ◇法規制値への適合を確認する検査（下水道基準、水質汚濁防止法基準）
- ◇排水処理工程の処理性能確認検査（処理設備流入前の水質、工程毎の水質把握）
- ◇トラブルの未然防止・排水処理の改善に関する試験（生物処理試験、処理薬品の適正添加量把握など）
- ◇処理状況の遠隔監視と試験結果のWeb報告（S.sensing®WEB）**NEW**

◇法規制への適合を確認する検査

クリタ分析センターでは採水について、採水業務を含めた分析受託はもとより、専用のサンプリングBOX（通箱）でのお客様自身の採水も提案させて頂いています。



専用サンプリングBOX使用のメリット。

- ◆サンプリング費用のコストダウン。
- ◆採水時を選ばない。
- ◆異常時の採水にも使用可能。

分析項目の選定など、お困りのことがあればご相談下さい。



【関係法令】

- 水質汚濁に係わる環境基準
- 一律排水基準

◇排水処理工程の確認検査

各排水処理設備の工程水分析も受託しております。

【例：処理設備と分析例】

	排水原水	前処理	凝集槽及び沈殿槽	生物処理	沈殿槽	汚泥	放流
排水処理工程		 油水分離など					
分析項目	SS、BOD、COD _{Mn} 、COD _{Cr} 、ノルマルヘキササン抽出物質含有量、窒素含有量、りん含有量など	SS、ノルマルヘキササン抽出物質含有量	濁度、SS、BOD、COD _{Mn} 、COD _{Cr} 、窒素含有量、ノルマルヘキササン抽出物質含有量、含有量、りん含有量など	MLSS、MLVSS、顕微鏡観察	SS、BOD、COD _{Mn} 、COD _{Cr} 、窒素含有量、りん含有量など	脱水処理試験（含水率、剥離性、汚泥強度）、肥料成分分析	放流する基準
分析結果からわかる事	処理前の水質がわかる。定期的な分析で、変動などを把握する事が出来る	固形物及び油分などの除去性能	凝集処理の良否や、後段の処理への負荷を把握できる	曝気処理に適正な生物相、汚泥量であるかわかる	生物処理により有機物が分解されたかが分かる。窒素、リンの除去能力が分かる	脱水処理の良否がわかる。汚泥のコンポジットの肥料としての適性	適正に処理が出来ている目安。法的要求を満たしている事の確認

【メリット】

- ★既設設備の高負荷ポイントを把握
- ★トラブル時の原因追究及び改善が迅速化
- ★自社の排水の変動を把握し、コストを含め適正管理が可能に

排水処理工程や原水の分析結果をもとに測定箇所・項目の提案も可能です。設備診断や改修工事をご希望される場合はグループ会社を紹介致します。

◇トラブルの未然防止・排水処理の改善に関する試験（水処理試験）

[詳しくはこちら »](#)

新規流入水の設備への影響調査、設備の能力評価、使用する薬品類の適正評価などに活用できる試験データの提供及びクリタグループを通じた排水処理の改善提案も可能です。

凝集試験・加圧浮上試験

目的：凝集剤の適正な選択及び処理コスト削減

凝集に必要な無機凝集剤・高分子凝集剤添加量の確認や、凝集状態・浮上状態の観察を行います。処理水の分析結果、水処理試験結果から総合的に評価します。

生物処理試験（連続過水、回分試験）

目的：生物処理可否の事前把握による流入水の質と量の変化の影響把握。

既設で使用している汚泥・担体（微生物）を用いて、処理しようとする試料水を連続過水または回分（バッチ）処理し、経過時間毎に水質分析をすることで、BOD等の除去率を確認することができます。排水基準超過の防止に役立ちます。

吸着試験（活性炭・イオン交換樹脂）

目的：処理効果の確認

既設で使用している充填材・検討充填材をカラムに詰め、一定の速度で試料水を通水します。カラムの入口と出口の水質分析を行うことで、処理対象物質の除去率を確認することができます。また、活性炭は対象物質の吸着量の測定などが可能です。

脱水試験

目的：最適な脱水材の選定

複数の薬品を用いて、脱水効果の確認を行います。フロックの形成状況やろ過性、強度、圧搾後のケーキ含水率から総合的に評価します。